

2023年度 懸賞論文(学生論文)受賞者のコメント

一般社団法人 建設コンサルタンツ協会広報事業専門委員会

2023年度の学生論文は、「あなたが市長なら、どのような“まちづくり”をしたいですか？」および「豊かな未来へ繋げるために、あなたはどのように土木技術を活用しますか？」の2テーマで、昨年6月1日から4ヶ月間（締め切り9月30日）募集を行いました。その結果、13編の応募をいただき、厳正な審査の末、特別賞1編を選定いたしました。受賞者の方よりコメントをいただきましたので、ご紹介いたします。

【特別賞】「観光コンテンツと地域住民を繋ぐグリーンスローモビリティ」

受賞者：齋藤 岳（長岡技術科学大学大学院）

論文概要

- ・新潟県妙高市における公共交通と農泊の課題に対して、低速の電動車で地域内を繋ぐグリーンスローモビリティ(※)を導入することによって解決することを提案している。
 - ・グリーンスローモビリティの移動速度や輸送量、運営経費を踏まえた狭い範囲での運行を想定し、各集落や市街地の中で集会所や道の駅等の拠点を中心に都市機能を繋ぐ路線と、集落同士や市街地へのアクセスを可能とする路線の2種類の路線運行を検討している。
 - ・施策による効果として、交通アクセスの改善の他、景色を楽しむための観光ツールとしての利用や地域住民と観光客の交流促進、地域コミュニティ活性化についても言及している。
- ※グリーンスローモビリティ：時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称

受賞者コメント



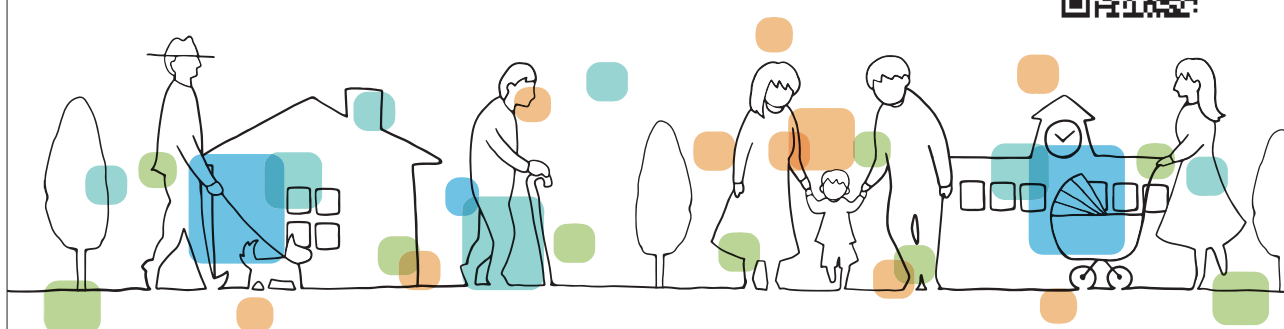
この度は、特別賞にご選出いただき、誠に光栄に存じます。
本稿は昨年末の旅行で、移動に不便を覚えた経験から着想を得て、人口減少が著しい農村地域で、性格が異なる2種のグリーンスローモビリティ路線の運行により、観光産業と公共交通双方の利便性を向上させる方法を提言しました。
この受賞を励みに、引き続き研究活動に励みたいと思います。最後にこの場をお借りして、査読及び選考して頂いた委員の皆様に感謝申し上げます。



2024年度 学生懸賞論文募集

建コン 学生論文 🔍 検索

● 応募開始の6月1日(土)より公開されます。



未来を生きる若者たちが
思い描く社会のカタチを聞かせてください。

応募期間

2024年

6/1(土)～
9/30(月)まで

【最優秀賞】 1点：副賞 30万円相当の商品券

【優秀賞】 1～2点程度：副賞 10万円相当の商品券

【特別賞】 複数点：副賞 3万円相当の商品券

下記の2つのテーマから、どちらか1つを選んで応募ください。

市長の公約

【テーマ1】

▶あなたが市長なら、どのような“まちづくり”をしたいですか？

日本の市町村は地域活性化や災害に強いインフラ対策等、多くの課題を抱えています。また、SDGsやグリーンインフラ、脱炭素等、社会全体で抱えている課題も山積みです。もし、あなたがまちの市長になったら、そのまちでどのような課題に臨み、どのようにして解決へと導けるでしょうか。

対象となる実際の市区町村を設定し、特定の課題とビジョンを掲げた上で、その実現のための具体的な対策と効果について、実現可能性を踏まえ、その地域に合った「まちづくりのアイデア」を提案してください。

安全・安心な暮らしのために

【テーマ2】

▶安全・安心を実現するための防災・減災対策とは？

2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」。震源である石川県能登地方を中心に、人々の生命や暮らしは甚大な被害を受けました。

人類の脅威となる災害から生命、財産、暮らしや環境等を守るために、私たちは今何をし、次の世代に何を残すべきか……。

社会資本整備(インフラ整備)の観点から、どのような技術や制度が必要なのか、あなた独自のアイデアを具体的に提案してください。

●建設コンサルタントとは

私たちが普段使っている道路や橋、鉄道、公園、移動で立ち寄る空港や港、上下水道、電気、ガス等ライフライン、災害から私たちの命を守るためのダムや堤防、防波堤等。これらは全て「土木技術」が係わる施設です。私たちの身の回りで、目に見えるところ、そして見えないところから暮らしを支え、時には命を守っています。私たち建設コンサルタントは、これらの施設の調査・計画・設計・施工監理・維持点検を土木技術を用いて行う専門技術者集団です。

JCCA 一般社団法人 建設コンサルタンツ協会